

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号	105
------	-----

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け、自ら学び自ら考え、生き生きと豊かに表現できる児童生徒を育成 ・自他を尊重し、学校や地域で生き生きと生活できる児童生徒の育成 ・運動に親しみ、心身ともに健康で、明るく元気な児童生徒の育成 								
評価する領域・分野 教育活動・学習指導	<p>教務（※番号は学校評価のアンケート項目）</p> <p>4：学校は、いろいろな人との交流を大切にし、児童生徒の経験を広めている。</p> <p>7：学校は、授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している。</p> <p>15：学校の先生は、児童生徒の実態を的確にとらえ、授業は一人一人に合った教材・教具の準備がされている。</p> <p>16：学校の授業には、体験的な活動が取り入れられ、児童生徒は意欲的に取り組んでいる。</p> <p>25：学校は、一人一台タブレットの整備にとまらぬ、ICTを活用した学習や、非常時のオンライン学習などに積極的に取り組んでいる。</p>								
現状及びアンケートの結果分析等	<p>・学校行事や授業等の参観する機会を設けて教育活動について積極的に公開していることや、保護者との懇談の場を充分設けていることについて「あてはまる」の回答が95%以上あり、理解を得ている。一方、授業内容や進度、一人一人に合った教材教具の準備という点について「あてはまらない」「わからない」との回答があった。今後はこのような意見を大切に、改善を図っていく。</p>								
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性のある指導計画作成に向けた教育課程の見直しと整理。 ・ねらい、支援方法、評価が明確な個別の指導計画作成。 								
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会や担当者による話し合いの場を設定する。 ・表記上の留意点を共通理解する場を設ける。 								
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・他学年の授業内容や教育課程に目を向け意識できるよう話し合いを行う。 ・「表記上の留意点」を作成し、職員研修を実施する。 								
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の見直しに向けた整理ができたか。 ・表記上の留意点を理解し、個に合った指導計画と評価ができたか。 								
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・他学年の実践や課題等を教科会で交流し、情報共有をした。 ・年度初めに学部ごとで職員研修を実施した。 								
評価の視点	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 75%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">評価</td> </tr> <tr> <td>① 教育課程の課題を整理することができたか。</td> <td style="text-align: center;">A B C D</td> </tr> <tr> <td>② 各職員が系統性のある学習指導、教育課程に対する意識をもつことができたか。</td> <td style="text-align: center;">A B C D</td> </tr> <tr> <td>③ 「表記上の留意点」を参考に個に応じた個別の指導計画が作成できた。</td> <td style="text-align: center;">A B C D</td> </tr> </table>		評価	① 教育課程の課題を整理することができたか。	A B C D	② 各職員が系統性のある学習指導、教育課程に対する意識をもつことができたか。	A B C D	③ 「表記上の留意点」を参考に個に応じた個別の指導計画が作成できた。	A B C D
	評価								
① 教育課程の課題を整理することができたか。	A B C D								
② 各職員が系統性のある学習指導、教育課程に対する意識をもつことができたか。	A B C D								
③ 「表記上の留意点」を参考に個に応じた個別の指導計画が作成できた。	A B C D								
成果・課題	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 75%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">総合評価</td> </tr> <tr> <td>○ 担当で話し合い、次年度に向けて各部及び学校全体の課題を整理できた。</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A B C D</td> </tr> <tr> <td>○ 教科会で指導内容に偏りや重複部分に気付き、系統性の必要性を意識できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 記入上の留意点への意識は高まっているが、ねらいや支援方法の明確性への対応力について今後研修を重ね全職員の力を高める必要がある。</td> </tr> </table>		総合評価	○ 担当で話し合い、次年度に向けて各部及び学校全体の課題を整理できた。	A B C D	○ 教科会で指導内容に偏りや重複部分に気付き、系統性の必要性を意識できた。	▲ 記入上の留意点への意識は高まっているが、ねらいや支援方法の明確性への対応力について今後研修を重ね全職員の力を高める必要がある。		
	総合評価								
○ 担当で話し合い、次年度に向けて各部及び学校全体の課題を整理できた。	A B C D								
○ 教科会で指導内容に偏りや重複部分に気付き、系統性の必要性を意識できた。									
▲ 記入上の留意点への意識は高まっているが、ねらいや支援方法の明確性への対応力について今後研修を重ね全職員の力を高める必要がある。									
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・本格実施に向けて、教育課程を作成していく。 ・校務支援システムの導入も含め定期的に研修会を行い、共通理解を図る。 								

学校関係者評価（令和6年2月27日実施）

意見・要望・評価等

- ・学校行事や授業参観の機会など、教育活動の積極的公開はたいへんですが、とても良いことである。
95%以上の好評価はすばらしい。